

第57回郡議会議員大会 滝沢村で開催!!

7月28日に「ふるさと交流館」を会場に郡内議会(平石・岩手・葛巻・滝沢)の議員の参加により、議員大会を開催しました。

関係町村議会議員一同が、互いに検討、協調、研修し合い、大会の総意のもとに諸事項の早期実現を図ることを目的としています。

各町村の国、県への要望 満場で採択!



▲あいさつする岩手郡町村議会議長会 角掛会長



▲要望を説明する長内産業建設常任委員長



▲記念講演「猛禽類保護と地球温暖化防止」
由井 正敏氏(社)東北地域環境計画研究会会長

滝沢村議会の国、県要望事項

- ・地方の道路整備促進について
国道4号(茨島こ線橋から滝沢村分れ交差点間)の拡幅改良・国道282号一本木バイパスの早期完成・「東北縦貫自動車道」へのスマートインターチェンジの整備促進
- ・道路整備関連事業の促進について
主要地方道盛岡環状線への路肩拡幅、歩道及び右折レーンの設置・巣子駅設置に伴う県道昇格・県道盛岡滝沢線の4車線化の早期完成及び両側歩道設置
- ・並行在来線の貨物列車走行に伴う貨物線路使用料制度(調整金制度)の見直しについて
- ・医療保険制度の改善について
- ・地上デジタルテレビ放送開始に伴う難視聴地域の解消等について

議会に ズバリ一言!

傍聴の理由は?!

岩手県立大学総合政策部では、3年生以上に実習を義務づけています。その一つが「政策実習」です。滝沢村や他の自治体がどのような課題に直面し、政策を展開しているのかを学びます。参加の学生は、将来、公的部門への希望者も多くいます。

議会の質疑は、実際の村政を体感できるまたとない機会でした。議会と行政に関する講学上の理解とは異なる具体事例に即した理解を学生はできたと思います。整然とした議会の運営と熱のこもった質疑に対し、心より敬意を表します。

(談:木場隆夫 教授)

今回は、岩手県立大学総合政策部の学生のみなさんにお寄せいただいた感想をご紹介します!!



村議会は、とても良い雰囲気で行われていたと思います。議員一人ひとりが良い緊張感を持って取り組んでいたし、他の市議会のように私語やヤジが多いこともありませんでした。また、村で婚活の支援をしていることに驚きました。若者が意欲をもった活動ができるようにするには、村でも様々な発想で取り組む必要があると気付かされました。

以前に他の議会を傍聴した時と比較して、滝沢村の議員は集中して議会に臨んでいて良かったと思う。柳村村長の婚活支援事業など定住人口の増加のための事業、政策に力を入れていたことは知っていたが、その内容について傍聴できて良かった。

議会を初めて傍聴してとても貴重な体験になりました。「定住化の促進」というのは、やはりどこの自治体でも課題としてとりあげているのだと思いました。核家族化や過剰な成果主義によって、現代の子どもたちの心は寂しい状態にあるのが切なく感じました。モノが豊かになってきた反面、そういった「心の貧しさ」を今後は自治体レベルで考えていく必要があると感じました。

傍聴席と議論しているところが近くて迫力があってすごかった。

「若者の定住」にとって、学生が就職できるように雇用の増加につながる施策は重要だと思います。

簡単ではないことですが、盛岡広域の中核として発展していただきたいです。婚活はブームですが、民間で行うのが基本ではないかとも思います。「公的機関が行うことで信用がされる」ということならば、それも一理あると思います。

ホームページの充実も重要な指摘だと思います。県立大学の情報もお役に立つことがあるかもしれない(地域の話として)と思います。整然とした議事進行を拝見でき、感謝致します。

実際に議会を見学したのははじめてだったので、どのように質疑が行われるのか分かって良かった。質問の内容も細かい所まで分析されていて真剣さが伝わりました。

若者の定住に関する質問を拝聴しましたが、働き口の多い盛岡市と隣接しているわりには、働き口が少ないことは問題に思いました。しかし、その隣接しているという利点を生かしてベッドタウンとして定住率を上げるのも一つの方法だと思います。

私は盛岡市松園に住んでいますが、盛岡の街中に行くのも滝沢に行くのもそれ程利便性は変わりません。でも交通の面や娯楽が豊富で行きたい方は盛岡の街中です。その点が豊かなら滝沢に人が集まってくると思います。質問者の方がさわやかに質問されているので、それが良かったです。